

桑員 まちのかわら版 第103号

平成30年6月1日発行

今年もやります。きらきら基金助成事業

みなさん、こんにちは。お元気でしたか？

今年度も、きらきら基金は動きだしています。

7月には、第3回休眠預金学習会と第9回桑名員弁地域円卓会議を行います。

また、今年度も高校生の地域貢献活動への助成を行います。桑名地区6校に募集案内をしていきます。

来年2月に「第11回きらきら基金助成事業」を行う予定です。皆様の応援と参加が支えです。

どうぞよろしくお願いいたします。

*** 今年度の予定とお願いです ***

●第3回休眠預金学習会と第9回桑名員弁地域円卓会議

7月19日(木)くわなメディアライブにて開催します。

●サンタの行進

12月23日、寺町商店街にて、市民団体やきらきら基金のアピールをします。

●第11回助成事業

平成31年2月、桑名市内にて、「団体助成」「パートナー助成」「企業の社会貢献活動」「市民活動団体アピールと報告」「高校生の活動報告とアピール」を行います。

●市民活動団体訪問取材と情報の更新

今年も順次、新規の団体を訪問して取材させていただきます。すでに紹介させていただいた団体の情報は、きらきら基金のホームページに掲載してありますが、代表の交代や活動内容の変更などがありましたらお知らせください。

●カエル・こぶた・小熊の募金箱をおいてもらえる方募集中！

2月初めまで募金箱をおいていただける方がありましたら、ご連絡をお願いします。

●まちのかわらばんの発行

まちのかわら版を年4回(6月、10月、1月、3月)発行。

以上は、あくまで予定です。これから、いろいろと詰めていきますので、お力添えを、ぜひぜひ、よろしくお願いいたします。



第3回休眠預金活用制度学習会

～「NPO・市民活動を活発にする地域の基金」～フォーラム開催のご案内

私たちの身近には、小さな、でもいっしょうけんめい人や地域の役に立とうとがんばっている市民活動がたくさんあります。私たちは、市民の活動が活発に行われることが、地域全体を活性化させ、地域の未来を豊かなものにすると考えています。

今日「NPO・市民活動」は広く社会に認知され、公的な社会貢献活動への期待は高まっています。就職先としてNPOやNGOを希望する若い層も、少しずつ増えてきました。しかし、そのような人材を確保できるのは比較的資金に恵まれた組織であり、地域の課題解決を目指す小さな団体は、その活動をボランティアに支える人たちによってやっと続けられているのが現状です。

昨年6月と9月に開催した「休眠預金活用制度学習会」では、地域のNPO・市民活動を取り巻くさまざまな課題について、議論を行いました。

第1回では「休眠預金活用制度」や「NPO・市民活動を支えるさまざまな動き」「活動資金の状況」などについて、会場を交えて意見交換をしました。

第2回では「地域の基金のこれからの取組と基盤整備」について学習しました。2回の学習会をとおして、課題の解決に取り組む現場の団体が、継続的な資金や人材を確保することが難しく、思うように活動を広げて行くことが出来ずにいる状況が浮かび上がってきました。また、活動を支える側の連携がうまく機能していないことも分かってきました。

第3回の学習会では、東京と佐賀から講師をお迎えして「休眠預金活用制度の現況」と「他県の基金の取組み」について学び、これからのNPO・市民活動を支える地域の基金について、考えて行きたいと思います。つきましては、下記の日程で「第3回休眠預金活用制度学習会」を開催いたしますので、ご案内いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成30年7月19日(木) 13:00～17:00 (受付 12:30～)

場所 くわなメディアライブ 1F 多目的ホール

主催 市民活動応援☆きらきら基金／認定NPO法人みえきた市民活動センター
市民活動応援☆きらきら基金運営委員会

代表 小笠原まき子 まちのファンクラブ代表

副代表 郷司 房夫(認)みえきた市民活動センター理事長

副代表 木下裕美子(特)いなべこども活動支援センター理事長

副代表 川島 浩 (特)生ごみリサイクル思考の会 理事長

お問い合わせ 「休眠預金活用制度」学習会担当 川戸由起 e-mail:kawato@rivers-

※詳しくは同封のチラシをご覧ください。



発行元 (特)みえきた市民活動センター

事務局 〒511-0088 桑名市南魚町 86 めがね工房ごうじ内

TEL 0594-27-2700

FAX 0594-27-2733